

令和6年度 流山小学校 学校評価について

1 学校評価の実施にあたって

今年度の学校評価を実施するにあたって、昨年度に引き続き保護者、児童、および教職員に対して同じ項目で評価を行うことで、それぞれの立場から見た評価結果を比較分析できるようにしました。また、今年度より、新しい質問項目を3問増やし、昨年度からの経年変化が分かるものと、今年度保護者・児童・教職員がどう感じていたのかを分析することで、来年度の教育活動に活かしていきたいと思いをします。

2 評価の方法

実施時期・・・令和6年12月3日（火）～10日（火）

実施方法・・・アンケート方式

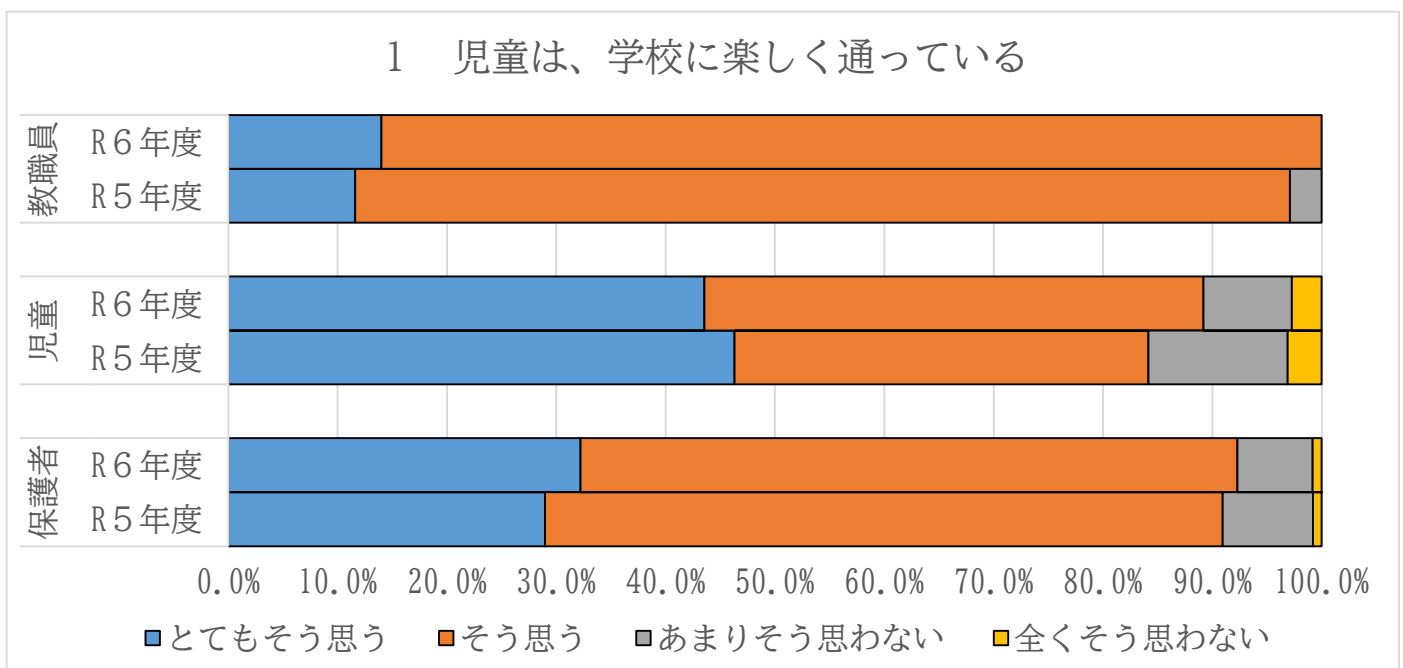
回答率・・・教職員 50/82 60.9% 児童 916/1090 84.0% 保護者 481/848 57.0%

3 考察

質問項目ごとの考察は以下のとおりです

（1）児童は学校に楽しく通っている。

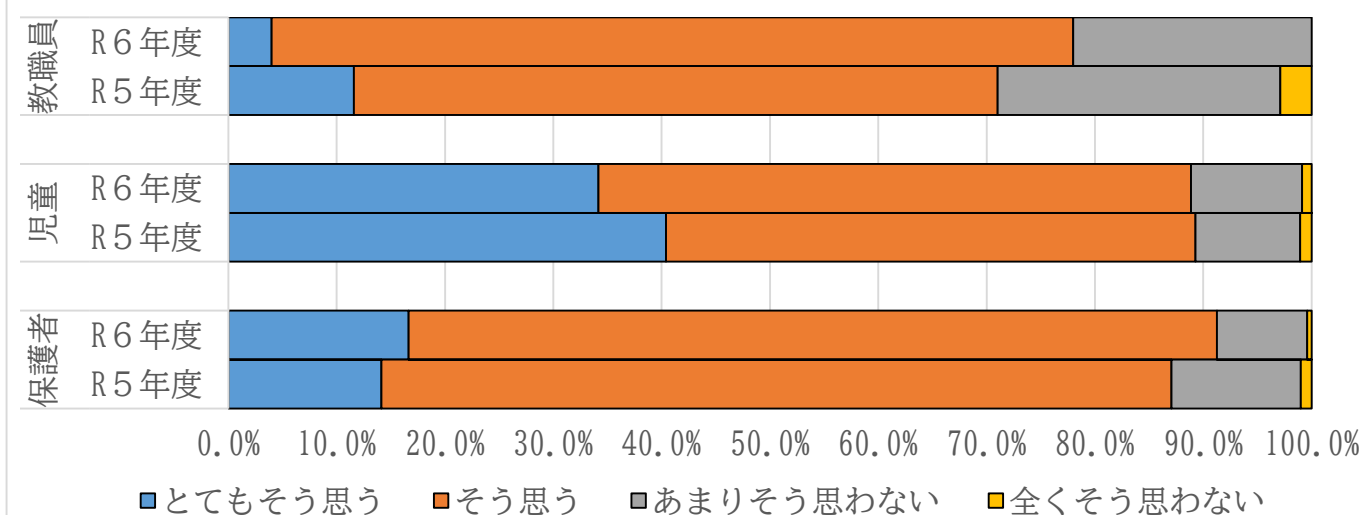
「とてもそう思う」「そう思う」の肯定的な回答率は教職員、保護者共に例年とほぼ変わりませんでした。学校が楽しいと思っている児童は昨年より5.1%増加しました。また、「あまりそう思わない」という児童は昨年より4.6%減少「全くそう思わない」という児童は昨年より0.4%減少しました。昨年よりも学校が楽しいと感じている児童は増えていますが、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の回答を合わせると約11.0%の児童が何かしらの思いを抱えて学校生活を送っていることが見受けられます。日々の授業や学校行事、友達や先生、地域の方々との交流などを通して、さらなる教育活動の充実を図り、子供たち一人一人に寄り添い、不安や悩みの把握と解消に努めていきます。



(2) 児童は、自分から挨拶をして、友達や周りの人に優しい気持ちで接している。

昨年度と比較すると、保護者と教職員の肯定的な回答率は教職員 7.0%、保護者 4.0%増加していました。一方児童は肯定的な回答が 0.4%減少しました。保護者や教職員が思っている以上に児童たちは、自分ではできていないと感じているようです。本校では「めえげこ（めをみて、えがおで、げんきに、こころをこめて）」を合い言葉に、生活委員会を中心に挨拶ができる環境を整えているので、お互いが気持ち良く挨拶ができるように引き続き指導していきたいと思います。また、地域の人と挨拶で繋がることで防犯上の観点からも抑止力になると言われています。まずは、教職員や大人が子供たちの手本となるような挨拶を心掛け、挨拶ができている児童には褒めていくことで、児童の自己肯定感を育てていけるよう取り組んで参りたいと思います。

2 児童は自分から挨拶をして、友達や周りの人に優しい気持ちで接している

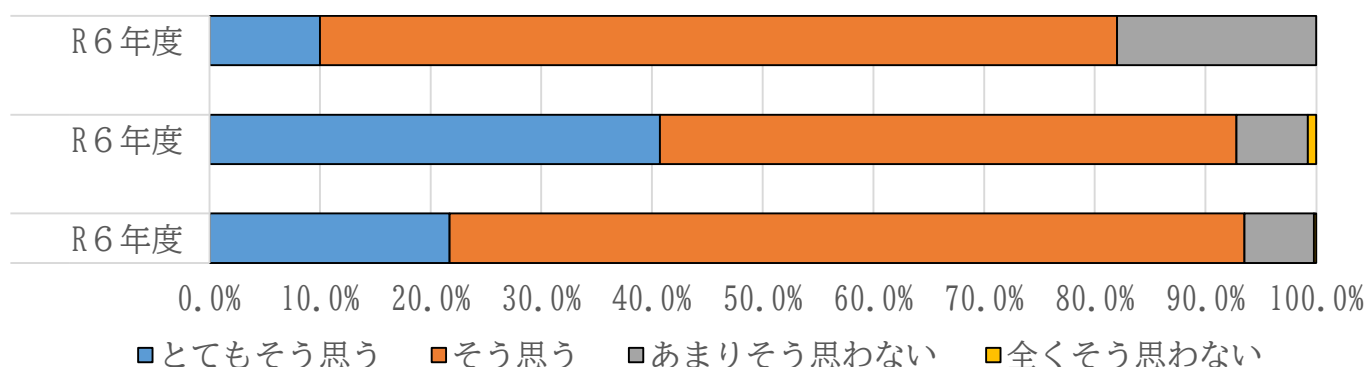


(3) 児童はルールやマナーを守れている。

今年度より、質問項目に加えた内容です。保護者と児童の肯定的な回答率は 90%を超えていました。多くの保護者と児童が、ルールやマナーを守れていると感じているようです。しかし、教職員の肯定的な回答率は 82%となり、保護者や児童との感じ方に開きがありました。

登下校や、学校内での過ごし方について共通の認識ができるよう周知してまいります。

3 児童はルールやマナーを守れている。



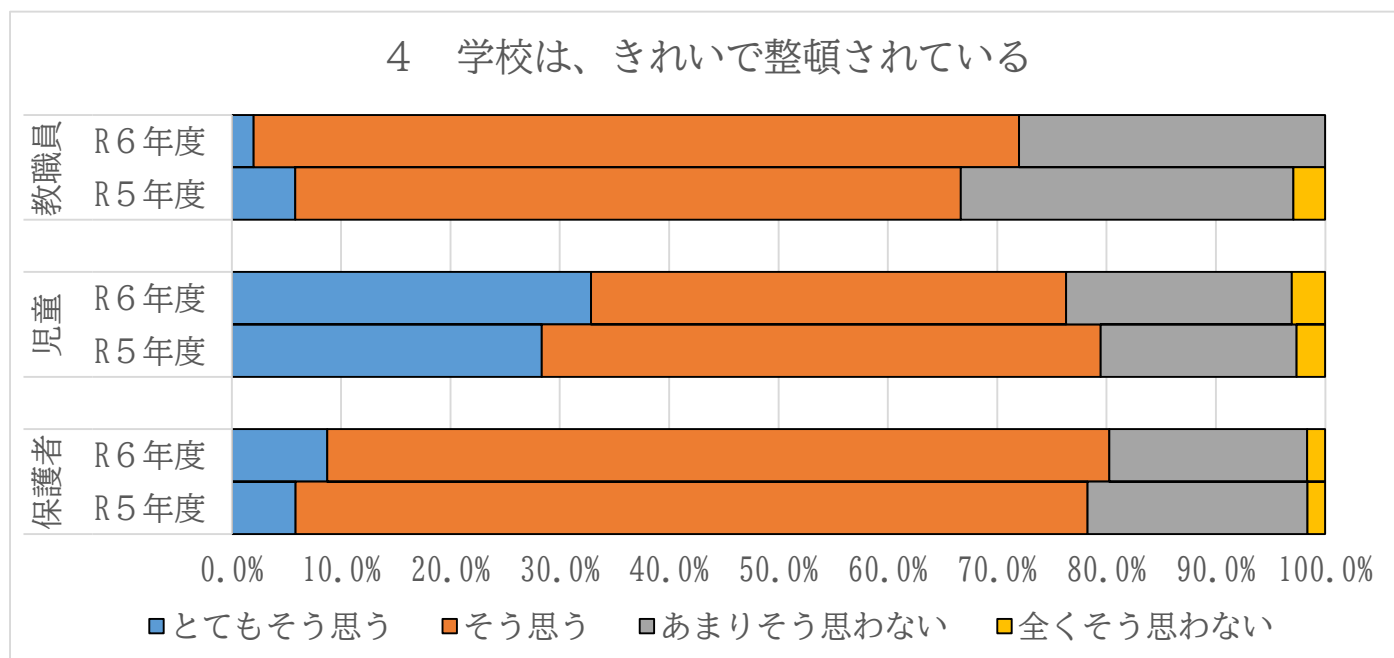
(4) 学校は、きれいで整頓されている。

昨年との比較から、肯定的な回答率は教職員 5.3%、保護者 2.0%増加、一方児童は、3.1%減少しました。教職員や保護者は昨年度よりもきれいに整頓されていると感じているのに対して児童は、昨年よりも学校がきれいで整頓されていないと感じているようでした。

このことから、日々の清掃活動において学校がきれいになっていないと感じている児童が昨年よりも多くいることが分かります。日々の清掃活動や教室内の整理整頓を心がけ、自分たちの手で学校をきれいにしていくという意識を育てていきたいと思います。

また、今後も保護者の皆様による草むしりや清掃ボランティア活動等で子供たちでは行き届かない場所等の環境美化にご協力いただけますと幸いです。

老朽化している箇所については、市とも連携を図り順次改修作業を行っています。今回のアンケートで保護者の皆様からいただきました貴重なご意見を参考にさせていただき、今後も環境整備に取り組んで参りたいと思います。

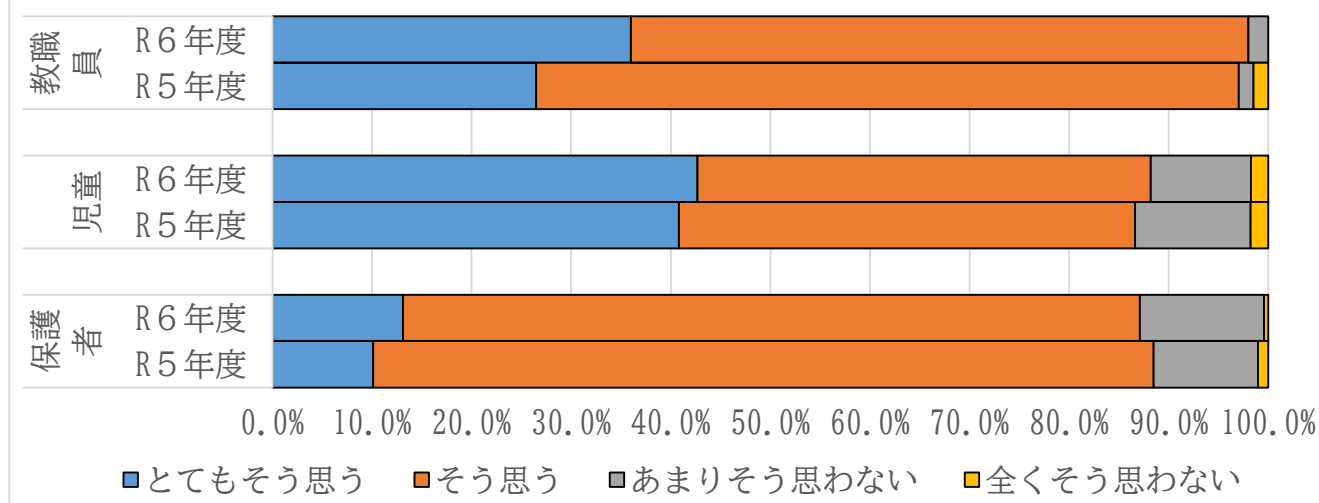


(5) 学校は、災害や感染症などの安全対策を積極的に行っている。

肯定的な回答率は教職員が 98%に対し、保護者は 87.1%、児童は 88.2%となりました。教職員と保護者・児童との間での安全対策について差がみられました。

今年度は、避難訓練（地震・火事・水害）や引き渡し訓練、災害時の体験などを学期に 1 回以上行い、災害時の指導をしてまいりました。また、感染症に罹患している児童が増えてくると、手洗いやマスクを推奨するなどの指導もしてまいりました。今回のアンケート内で保護者への情報発信に課題もご指摘いただいております。安全対策について今一度見直しを行い、安心して学校生活を送れるようにしてまいりますのでご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

5 学校は、災害や感染症などの安全対策を積極的に行っている

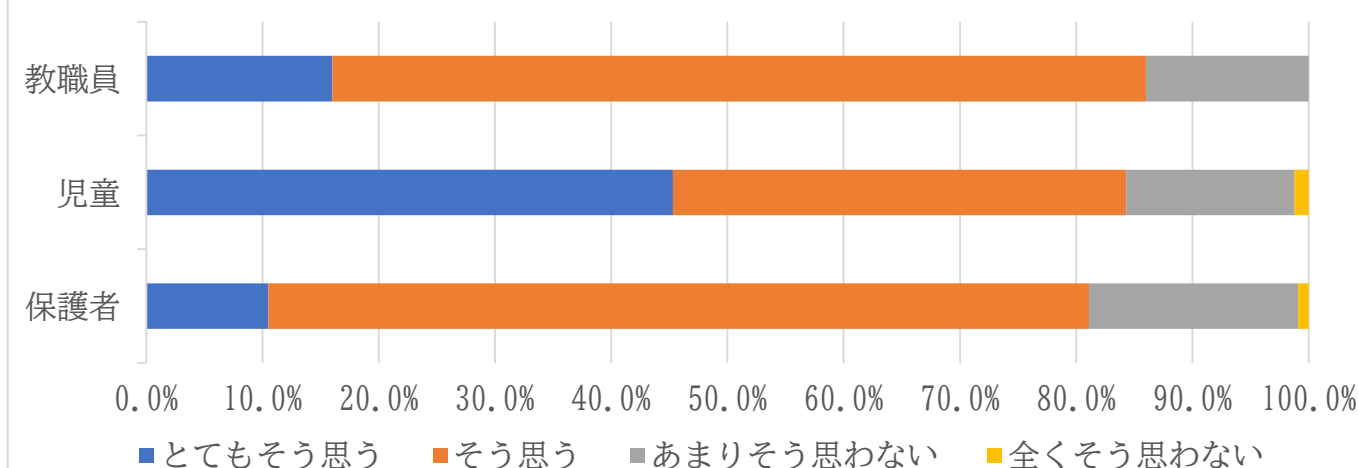


(6) 学校はICTの活用を積極的に行っている。

今年度より、質問項目に加えた内容です。教職員、保護者、児童ともに肯定的な回答率が8割を超えていました。授業や日々の連絡、宿題等で徐々に活用の幅が広がっています。今後もICTを積極的に活用することで、児童の主体的な学びを推進し、自分で作成した資料を基に対話的な活動を取り入れていくことで、深い学びの実現を行ってまいります。

また、積極的に活用していないと感じている教職員、保護者、児童が2割ほどいますので、校内研修等を行い積極的な活用に努めていこうと思います。

6 学校はICTの活用を積極的に行っている。



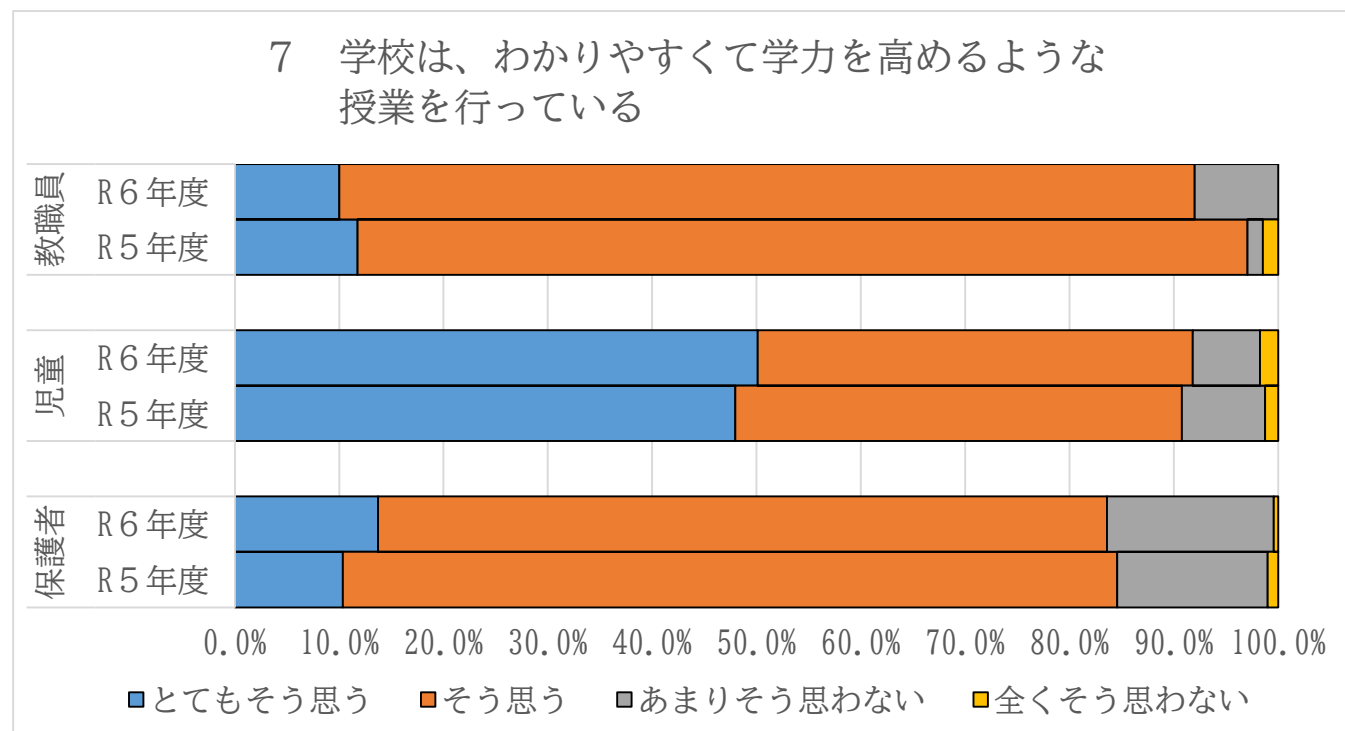
(7) 学校はわかりやすく学力を高めるような授業を行っている。

昨年度との比較から、肯定的な回答率は、教職員 5.1%、保護者 0.9%減少、児童は 1.0%増加という結果となりました。

教職員や児童の約 90%が肯定的な回答のため、わかりやすく学力を高める授業を心掛けて指導にあたっていることや、授業がわかりやすいと感じていることがわかりました。しかし、保護者の

肯定的な回答率は、83.6%となり、昨年度よりもわかりやすく学力を高めるような授業を行っていると感じている保護者は減少しました。教材研究や校内での授業研究や研修をとおして、教職員の指導力向上について対策を行ってまいります。

また、授業参観や日々の情報発信において、保護者の皆様にも学校での様子がお伝えできるように努めて参ります。



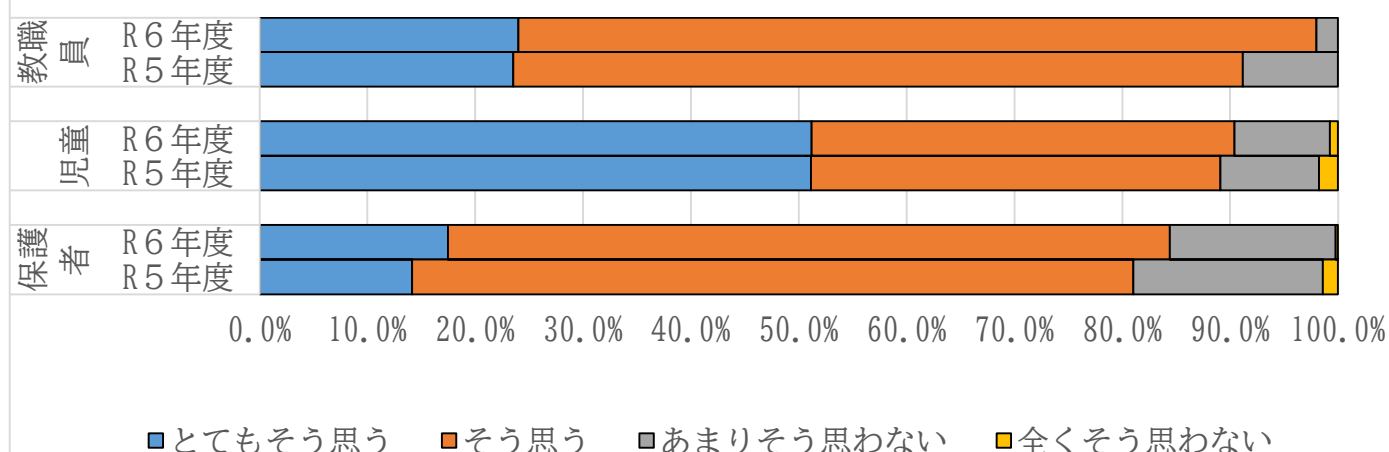
(8) 学校は、一人一人の特性を大切に指導・支援を行っている。

昨年度との比較から、肯定的な回答率は教職員 6.9%、児童 1.3%、保護者 3.4%増加という結果になりました。これは、教職員がより一人一人に寄り添った指導・支援を行っていこうと意識し、実行してきた結果が、児童や保護者の皆様にもご理解いただけたのではないかと考えます。

しかし、教職員と児童の肯定的な回答率が 90%以上に対し、保護者の肯定的な回答率は 84.4%となっており、教職員と児童、保護者の間での差が開いていました。

支援を必要としている児童を学年や学校全体で共通理解を図り、指導・支援にあたってまいりたいと思います。また、細かな児童の様子も察知できるよう、子どもと向き合える時間を確保するとともに、毎日児童が入力する「心の天気」の内容を担当や管理職が把握し、保護者の皆様と連携しながら、子どもへの目配りや声掛けにいかしていきたいと考えています。

8 学校は、一人一人の特性を大切に 指導・支援を行っている



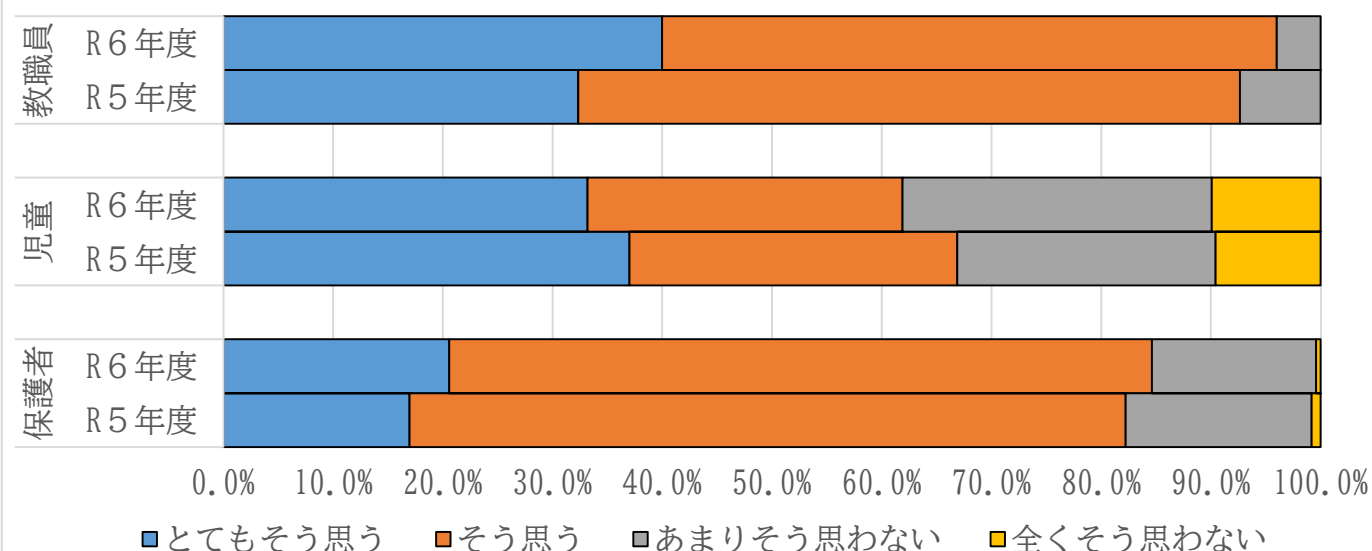
(9) 学校は、子どもたちの読書環境を整えている。

昨年度との比較から、肯定的な回答率は教職員 3.3%、保護者 2.3%増加、児童 5.0%減少、という結果となりました。

学校図書館司書を中心に司書教諭、図書委員会の児童が様々なアイデアを出しながら、図書室へ足を運んでもらえるように働きかけてまいりました。また、給食委員会による絵本給食や毎月の全校朝会での校長による読み聞かせ、おはなしのもりによる読み聞かせなど、本に親しむ環境を整えてまいりました。また、図書ボランティアの皆様のご協力をいただきながら、明るく読みやすく、読みたい本がすぐに手に取りやすい環境改善に日々取り組んでいます。

図書室の貸出冊数は年々増えており、今年度取り組んだ福袋本では、新しい分野の本に出合う機会にもなり、すぐに完売するほど人気でした。一方で高学年になるにつれて、読書率が低下している課題もあります。多くの児童が本に興味をもってもらえるような環境づくりや取り組みをさらに考えていきたいと思います。

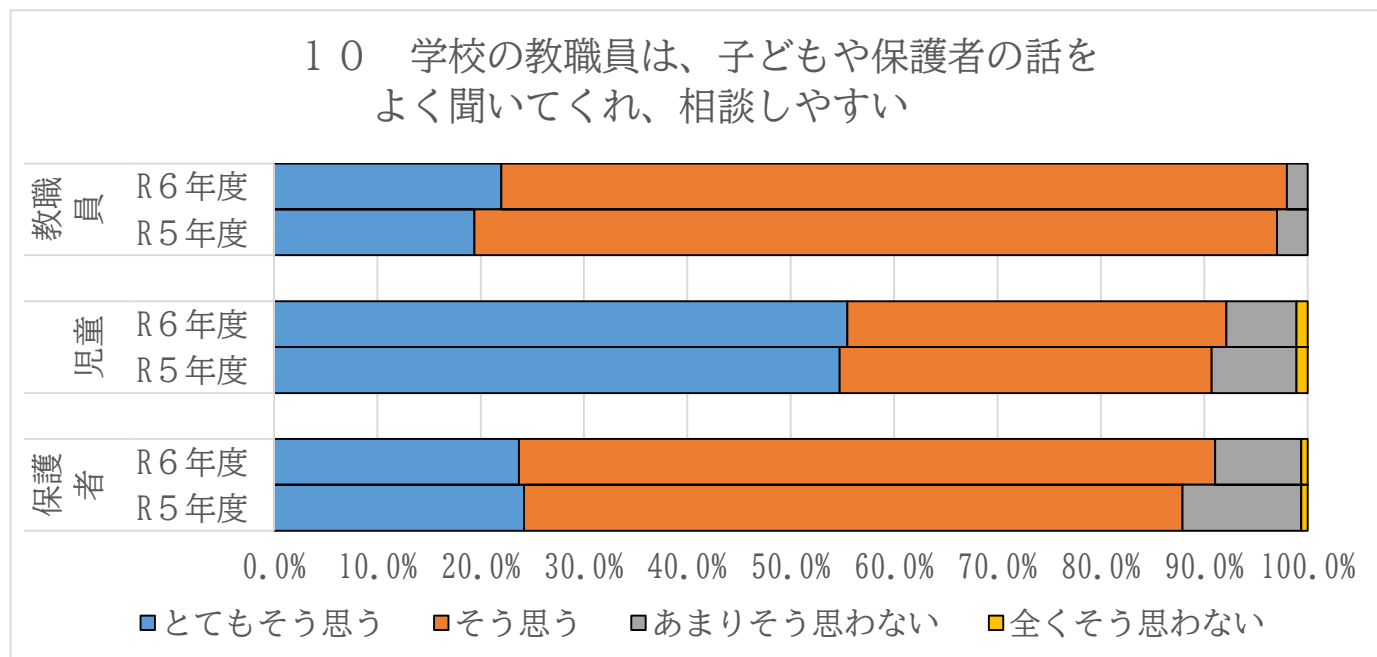
9 学校は、子ども達の読書環境を整えている



（１０）学校の教職員は、子どもや保護者の話をよく聞いてくれ、相談しやすい。

昨年度との比較から、肯定的な回答率は教職員 1.0%、児童 1.5%、保護者 3.2%増加という結果となり、全体的には9割以上の肯定的な回答を得られました。日頃より、児童や保護者からの相談やご意見などを教職員が真摯に受け止め、改善していけるよう努力していることが今回の結果につながっていると感じております。また、自由記述でいただいたご意見は真摯に受け止め、引き続き保護者の皆様が学校や教職員に気兼ねなく相談できる環境になるよう努めてまいります。

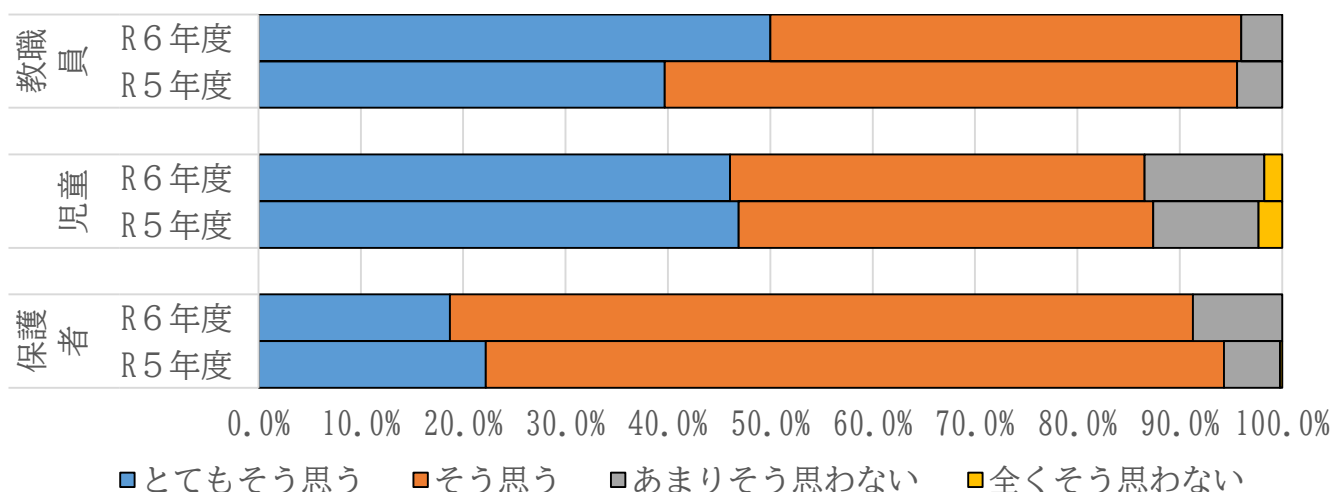
児童には、悩みや困りごとをいつでも相談できるよう、悩みごと相談員がいることや悩みごと相談ポストがあることを繰り返し周知し、指導・支援にあたっていきたいと思っております。



（１１）学校は、授業や行事など学校生活の中で、保護者や地域との関わりを大切にしている。

昨年度と比較すると、肯定的な回答率は教職員は 0.4%増加し、保護者は 3.0%減少、児童は 0.8%減少しました。今年度も、コロナ前のように全校一斉の行事を行うことができました。行事についても、自由記述の中でご意見をいただきましたので、来年度の行事を精査しながら行ってまいります。これまでたくさんの保護者、地域の皆様のご支援ご協力に支えられながら共に歴史を築き上げて参りました。引き続き、保護者と地域の皆様に支えられていることを、子どもと共に感謝しながら進めて参ります。

1 1 学校は学校は、授業や行事など学校生活の中で、保護者や地域との関わりを大切にしている



(1 2) 学校は、積極的に情報発信をしている。

今年度より、質問項目に加えた内容です。肯定的な回答率は教職員が 96%、保護者が 88.2%、児童が 82.9%でした。肯定的な回答率では、教職員と保護者、児童の間に開きが見られました。教職員は、児童や保護者の皆様に向けて情報発信を積極的に行っていると思っていますが、児童や保護者の皆様においては、今一つ情報が行き届いていないとの結果でした。情報発信の方法や内容を見直し、今まで以上に情報発信ができるよう努めてまいります。

1 2 学校は積極的に情報発信をしている。

